

連続講演会  
講演者名 & タイトル一覧表

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
1973年(S48) 第1回									
『キリスト教と日本の諸宗教との対話』	5/9(水)	1-1	上智大学	教授	ペトロ・ネメシエギ		キリスト教は他宗教をどう考えるか		
			国学院大学	教授	小野 祖教		神道とキリスト教		
	5/11(金)	1-3	都留文科大学	元学長	増谷 文雄		念仏信仰とキリスト教		
			上智大学	教授	江藤 太郎		真宗とキリスト教		
	5/12(土)	1-5	東京教育大学	教授	和歌森 太郎		民間信仰とキリスト教		
			東京教育大学	教授	和歌森 太郎				
	討論		上智大学	教授	江藤 太郎		日本の諸宗教とキリスト教		
			上智短期大学	教授	八幡 一郎				
			上智大学	教授	ペトロ・ネメシエギ				
	5/16(水)	1-6	奈良教育大学	教授	阿部 正雄		禅とキリスト教		
上智大学			助教授	門脇 佳吉		禅の修業とキリスト教的霊性			
5/18(金)	1-8	真如会	主幹	紀野 一義		日蓮を中心とした鎌倉仏教			
		東京神学大学	教授	北森 嘉蔵		日蓮宗とキリスト教			
5/19(土)	1-10	東京大学	教授	中村 元		仏教とキリスト教			
		東京大学	教授	中村 元					
		討論	秋川神冥窟	主任	愛宮 真備		仏教とキリスト教		
			東京神学大学	教授	北森 嘉蔵				
			上智大学	助教授	門脇 佳吉				
1974年(S49) 第2回									
『禅とキリスト教の対話』	5/25(土)	2-1	東京顕微鏡院	院長	山田 耕雲		禅の悟りについて	教師	
			東京顕微鏡院	院長	山田 耕雲		教師		
			神冥窟	主任	愛宮 ラサール		キリスト者が禅に学ぶ		
			東京大学大学院印哲科	-	ハビット		— 老子と弟子(キリスト者)の対話 —		
	5/27(月)	2-2	東京都精神医学総合研究所	主任研究員	萩野 恒一		キリスト教神秘体験と宗教精神病理		
			名古屋大学	名誉教授	岸本 鎌一		禅と精神療法		
	5/29(水)	2-4	駒沢大学	教授	酒井 得元		道元禅の本質 — 只管打坐をめぐる —		
			神冥窟	主任	愛宮 ラサール		現代人にとっての禅の魅力		
5/31(金)	2-6	花園大学	教授	大森 曹元		臨済の人間観	教師		
		上智大学	教授	門脇 佳吉		エックハルトの神秘思想 — 禅との類比 —			
6/1(土)	2-8	東京大学	教授	玉城 康四郎		禅と聖霊			
		東京大学	教授	玉城 康四郎					
討論		東京都精神医学総合研究所	主任研究員	萩野 恒一		相互の理解に向って			
		駒沢大学	教授	酒井 得元					
			東洋宗教研究所	所長	ハインリッヒ・デュモリン				
1975年(S50) 第3回									
『現代人の苦悩と宗教』	5/17(土)	3-1	上智大学	教授	小木 貞孝		存在の不安 — 死刑囚の状況を中心に —		
			上智大学	教授	小木 貞孝				
	討論		在家禅会真人会	主宰	秋月 龍珉		宗教者に問う		
			カトリック司祭	-	寺西 英夫				
	5/19(月)	3-2	日蓮宗僧侶	-	丸山 照雄		現代の危機に立ち向かう — 仏教の主体性について —		
			日蓮宗僧侶	-	丸山 照雄		社会的苦悩をめぐる		
	5/21(水)	3-3	上智大学	教授	A.マタイス		死の問題		
法政大学			教授	山崎 正一		死について			
5/22(木)	3-4	東京神学大学	教授	大木 英夫		人間の業と罪			
		武蔵野女子大学	学長	雲藤 義道		原罪と業 — その現代的解釈をめぐる —			
5/24(土)	3-7	上智大学	教授	ハインリッヒ・デュモリン		小説家から見た苦悩			
		作家	-	遠藤 周作					
討論		作家	-	遠藤 周作					
		聖心女子大学	教授	松本 滋		苦悩からの解放 — よみがえり —			
			上智大学	前副学長	山本 襄治				

連続講演会  
講演者名&タイトル一覧表

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
1976年(S51) 第4回									
『神秘思想と現代 —密教とキリスト教—』	5/1(土)	4-1	嵯峨美術短期大学	学長	佐和 隆研	密教的芸術観			
			4-2	菊名カトリック教会	主任司祭	古谷 功	聖絵壁イコノスタスと正教会神秘神学		
	5/4(火)	4-3	東洋大学	教授	金岡 秀友	密教の神秘思想			
			4-4	上智大学	教授	ウィリアム・ジョンストン	神秘体験と霊動弁別		
	5/6(木)	4-5	比叡山居士林	所長	堀沢 祖門	比叡山の修行 — 籠山12年 —			
			4-6	上智大学	教授	霜山 徳爾	神秘体験の心理学		
	5/7(金)	4-7	高野山大学	教授	宮坂 有勝	弘法大師の密教思想			
			4-8	聖母女学院短期大学	教授	奥村 一郎	十字架のヨハネと天台小止観の思想		
	5/8(土)	4-9	上智大学	教授	ペトロ・ネメシエギ	神秘体験と宗教			
討論			東洋大学	教授	金岡 秀友	神秘思想と現代			
			上智大学	教授	ウィリアム・ジョンストン				
1977年(S52) 第5回									
『修行と人間形成 —行の教育的意義—』	5/21(土)	5-1	比叡山延暦寺長藤	-	葉上 照澄	天台の修行と人格教育			
			5-2	上智大学	教授	K.ルーメル	イエズス会の精神と教育		
		討論	比叡山延暦寺長藤	-	葉上 照澄	-			
			上智大学	教授	K.ルーメル	-			
	5/23(月)	5-3	金峯山修験本宗	管長	五條 順教	修験道の行法と人間形成			
			5-4	上智大学	教授	門脇 佳吉	行がどうして人格を形成するのか		
	5/25(水)	5-5	大阪大学	名誉教授	佐保田 鶴治	ヨーガと人間形成			
			5-6	カトリック司祭	-	押田 成人	無行の行		
	5/26(木)	5-7	神社本庁調査部	部長	小野 迪夫	神道の禊について			
			5-8	カトリック司祭	-	井上 洋治	行を媒介としての真の自己の獲得		
	5/28(土)	5-9	栄光学園	理事長	G.フォス	現代日本の教育と修行			
5-10			鉄舟禅会師家	-	大森 曹玄	禅・剣・筆による人間教育			
5/29(日)	5-11	二松学舎大学	助教授	寺山 葛常	揮毫と直心影流の法定				
		実演	鉄舟禅会師家	-	大森 曹玄 他幹部	書は人なり — 筆禅道と人間形成 —			
		実習			筆禅道				
1978年(S53) 第6回									
『宗教は人・世を変える』	5/18(木)	6-1	臨済宗円覚寺派	管長	朝比奈 宗源	米寿を迎えて — 幼少時代・参禅 —			
			5/20(土)	6-2	ノートルダム清心女子大学	学長	渡辺 和子	愛するということ — 私の歩んできた道 —	
	5/22(月)	6-3	西本願寺都市開教布教使	-	藤村 公久	巷で念仏を学ぶ			
			6-4	協和醸酵工業株式会社	取締役会長	加藤 辨三郎	親鸞の教え		
	5/24(水)	6-5	青年海外協力隊	参事	粕谷 甲一	絶対への突破			
			6-6	ヨーガ・アーチャリア鳳友会	主宰	藤田 鳳子	ヨーガに於ける人間変革		
	5/25(木)	6-7	富士見町教会	牧師	鳥村 亀鶴	私の信仰体験			
			6-8	上智大学経済学部	講師	山田 経三	アジアの隣人に対する日本人の責任 — 神父の体験 —		
	5/27(土)	6-9	立正大学	名誉教授	茂田井 教亨	与えられた法華経	神父		
			6-10	妙心寺派	管長	山田 無文	幸なるかな心の清きもの		
	6-11	上智大学	教授	F.マシー	神の霊の溢れのままに				
1979年(S54) 第7回									
『瞑想と現代文明』	5/19(土)	7-1	上智大学	教授	門脇 佳吉	瞑想は現代に意味があるのか — 瞑想の深層心理 —			
			7-2	日本茶道学会	会長	田中 仙翁	先人が道に求めたもの — 瞑想と茶の湯 —		
	5/21(月)	7-3	上智大学	教授	高柳 俊一	瞑想と現代カトリック神学 — カール・ラーナーの場合 —			
			7-4	東京大学	教授	田村 芳朗	瞑想と天台思想		
	5/23(水)	7-5	日本大学	教授	古田 紹欽	墨の芸術に内在するもの			
			7-6	上智大学	教授	ジャック・ベジノ	瞑想と文学 — 瞑想は人間の言葉になれるか —		
	5/25(金)	7-7	臨済正宗師家	-	秋月 龍珉	坐禅と禅思想			
			埼玉医科大学	教授					
	5/26(土)	7-8	上智大学	助教授	クラウス・リーゼンフーバー	存在への傾聴 — 現代思想における瞑想の位置づけ —			
			7-9	東京大学	助教授	村上 陽一郎	瞑想と現代科学 — 語りうるものと語りえぬもの —		
7-10	上智大学	教授	平井 久	瞑想と現代心理学 — 心身の制御法と治療 —					

連続講演会  
講演者名&タイトル一覧表

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
1980年(S55) 第8回									
『日本人と宗教性』			5/17(土)	8-1	国際基督教大学	教授	武田 清子	キリスト教の土着化	
				8-2	京都大学	教授	河合 隼雄	ユング心理学から見る日本人の宗教性	
			5/19(月)	8-3	駒沢大学	教授	奈良 康明	日本語に定着した仏教思想	
				8-4	東洋大学	教授	河波 昌	鎌倉仏教と日本の心性	
			5/21(水)	8-5	上智大学	教授	井上 英治	日本人の宗教心 ― 忝けなさの体験 ―	
				8-6	駒沢大学	教授	桜井 徳太郎	民族宗教の日本的性格	
			5/22(木)	8-7	国学院大学	教授	上田 賢治	神道と日本人	
				8-8	上智大学	教授	尾原 悟	キリシタンの宗教性	
			5/24(土)	8-9	文芸批評家	-	吉本 隆明	親鸞教について	
					討論	文芸批評家	-	吉本 隆明	パネルディスカッション“日本人と宗教性”
					日蓮宗僧侶	-	丸山 照雄	「日蓮は日本人の宗教性に何をもたらしたか」	
					上智大学	教授	高柳 俊一	「親鸞とそのキリスト教神学よりの理解」	
					上智大学	教授	門脇 佳吉		
1981年(S56) 第9回									
『キリスト教と民族宗教』			5/16(土)	9-1	大阪市民俗学博物館	教授	岩田 慶治	原始宗教と世界宗教	
				討論	上智大学	教授	門脇 佳吉	パネル: ―キリスト者からみた民族宗教	
			5/18(月)	9-2	上智大学	教授	宗像 巖	「無文字の民衆」の宗教性 ―水俣(公害)の場合―	
				討論	上智大学	教授	高柳 俊一	パネル: 文字化と歴史意識への過程	
			5/19(火)	9-3	聖母学院短期大学	学長	奥村 一郎	キリスト教の土着化	
				討論	上智大学	教授	越前 喜六	パネル: 文化受容(インカレクション)の問題をめぐって	
			5/21(木)		フィルム	-	Japan Film Center製作	「春日若宮おん祭り」50分	
					フィルム	-	岩波映画製作	「山の祭り」20分	
				9-4	上智大学	教授	トマス・インモース	日本の祭りとカトリックの典礼	
			5/22(金)	9-5	山本書店	店主	山本 七平	東アジアの神学とキリスト教	
			討論	上智大学	教授	高柳 俊一	パネル: キリスト教の多様化		
		5/23(土)	9-6	東京大学	教授	柳川 啓一	日本の祭りとキリスト教の祭り		
			討論	上智大学	教授	土谷 吉正	パネル: 日本におけるミサ		
			討論	フィリピン人神父	-	ルーベン・アビト	パネル: フィリピン民衆の宗教行事		
1982年(S57) 第10回									
『親鸞とキリスト教』			5/22(土)	10-1	京都大学	名誉教授	武内 義範	親鸞の教え如来観と神の人格性	
				10-2	二松学舎大学	教授	佐古 純一郎	親鸞とパウロ ―歎異抄第2章とローマ書7章―	
			5/24(月)	10-3	京都大学	教授	梶山 雄二	初期大乘仏教と親鸞	
				10-4	東京工業大学	教授	八木 誠一	親鸞と新約聖書のキリスト教	
			5/26(水)	10-5	大谷大学	教授	寺川 俊昭	親鸞の信仰と教団の刷新	
				10-6	上智大学	教授	山本 襄治	現代のカトリック信仰と教会の刷新	
			5/28(金)	10-7	大谷大学	学長	広瀬 果	親鸞における信仰のいのち ―「教行信証」を貫くもの―	
				10-8	上智大学	教授	門脇 佳吉	親鸞の信仰とキリスト教的人格神	
			5/29(土)	10-9	東京神学大学	教授	北森 嘉蔵	仏の「悲」と神の「痛み」	
				10-10	作家	-	加賀 乙彦	歎異抄と聖書の魅力	
			10/23(土)	10-11	作家	-	水上 勉	地方の仏教者	
				10-12	清泉女子大学	助教授	武田 友寿	アッジの聖フランシスコ ― その宗教性と文学性 ―	

※第9回のみ  
パネルあり  
一覧表統一の  
為、「討論」と  
記述する

**連続講演会  
講演者名&タイトル一覧表**

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
1983年(S58) 第11回									
『死の彼方に —宗教的死生観—』	5/21(土)	11-1	国際基督教大学	学長	中川 秀恭			キリスト教における死生観	
		11-2	国立歴史民俗博物館	教授	山折 哲雄			死との交わり — 三つの型 —	
	5/23(月)	11-3	早稲田大学/広度院住職	教授	峰島 旭雄			死 — その此岸と彼岸 —	
		11-4	上智大学	助教授	関谷 真			生きるかたちを超えて — 生命科学者の立場から —	神父
	5/25(水)	11-5	竜源寺先住職/南無の会会長	-	松原 泰道			無生死	
		11-6	上智大学	教授	越前 喜六			死はいのちの終わりか — キリスト教の死生観 —	神父
	5/27(金)	11-7	文芸評論家/芸術院会員	-	山本 健吉			日本の芸術に現われた死生観	
		11-8	関口教会	主任代行	森 一弘			十字架の死	神父
	5/28(土)	11-9	フランススコ会聖書研究所	所長	ベルナルディン・シュナイダー			聖書の死生観	神父
		11-10	筑波大学	教授	湯浅 泰雄			深層心理学における死と再生のイメージ	
1984年(S59) 第12回									
『道元とキリスト教』	5/19(土)	12-1	東京大学	名誉教授	玉城 康四郎			道元の瞑想	
		12-2	上智大学	教授	クラウス・リーゼンフーバー			聖イグナチオ・ロヨラの瞑想	
	5/21(月)	12-3	駒沢大学	副学長	奈良 康明			道元の和歌とその宗教性	
		12-4	上智大学	教授	高柳 俊一			宗教体験と詩的表現	
	5/23(水)	12-5	大雄山最乗寺山主曹洞宗師家会	会長	余語 翠巖			道元の解脱	
		12-6	カトリック司祭	-	押田 成人			キリストの救い	
	5/25(金)	12-7	駒沢大学	教授	鈴木 格禅			道への開眼 — 道元の宗教的世界 —	
		12-8	上智大学	教授	門脇 佳吉			道としてのキリスト	
	5/26(土)	12-9	駒沢大学	総長	桜井 秀雄			道元禅師の教育観	
		12-10	上智大学	教授	トマス・エセイサバレナ			聖イグナチオ・ロヨラの弟子教育	
1985年(S60) 第13回 『「たましひ」の深みへ —宗教体験の深層心理—』									
●日本人の宗教性とキリスト教	5/18(土)	13-1	上智大学	教授	トマス・インモース			神道の「祭り」の原型	
		13-2	南山大学	助教授	ジェームズ・ハイジック			ユング心理学に及ぼす日本人の宗教心の功罪	
		13-3	筑波大学	教授	湯浅 泰雄			キリスト教と日本人の宗教意識	
●宗教体験と「深層心理」	5/19(日)	13-4	国立歴史民俗博物館	教授	山折 哲雄			観音信仰と聖母信仰	
		13-5	上智大学	教授	門脇 佳吉			道の深層心理——仏道とキリストの道	
●仏教の「深層心理」	5/19(日)	13-6	駒沢女子短期大学	教授	太田 久紀			仏教唯識論について	
		13-7	東洋大学	教授	金岡 秀友			空海の「深層心理」	
●神秘主義の「深層心理」	6/15(土)	13-8	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	助手	中沢 新一			仏教と神秘主義	
		討論	東京家政大学	助教授	関根 靖光			-	討論者
1986年(S61) 第14回 『キリスト教と日本人の宗教性/対決から対話へ』									
●深層心理と日本人の宗教性	5/10(土)	14-1	作家	-	遠藤 周作			小説家の立場から	
		14-2	京都大学	教授	河合 隼雄			遠藤周作「スキャンダル」における日本人の宗教性	
		討論	上智大学	教授	門脇 佳吉			-	コメンテーター
●日本の基層的宗教性とキリスト教	5/17(土)	14-3	京都市立芸術大学	学長	梅原 猛			古代日本宗教の現代的意義	
		討論	国際キリスト教大学	教授	葛西 実			-	コメンテーター
		14-4	国学院大学	教授	藺田 稔			日本人と神道の宗教性	
		14-5	国際キリスト教大学	教授	葛西 実			日本人の宗教性とキリスト教	
		討論	カルメン会司祭	-	奥村 一郎			-	コメンテーター
●日本思想の近代化とキリスト教	5/18(日)	14-6	上智大学	教授	垣花 秀武			新井白石とキリスト教の出会い/日本近代化の原点	
		14-7	東京大学	名誉教授	今道 友信			現代日本の思想とキリスト教/その展望	
		討論	上智大学	教授	高柳 俊一			-	コメンテーター
●声明とグレゴリアンの調べ	10/11(土)	14-8	国立劇場芸能部演出室	主任専門員	木戸敏郎			声明=日本歌謡の源泉	
		14-9	作曲家	-	細川俊夫			グレゴリアン=西洋音楽の源泉	
		合唱	-	教授	聖グレゴリオの家(協力)			グレゴリアンの合唱	
●新しいミサの試み 1987年(S62)	1/11(日)	14-10	上智大学	教授	門脇 佳吉			世阿弥の思想とキリスト教	
		実演	須坂カトリック教会司祭/司式司祭	-	山根克則			ミサと能	
			観世流シテ方	-	梅若猶彦				

**連続講演会  
講演者名&タイトル一覧表**

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
1987年(S62) 第15回									
『宗教と科学・技術』	5/23(土)	15-1	筑波大学	教授	村上 和雄		遺伝子工学と宗教		
			上智大学	教授	柳瀬 睦男		現代科学・技術と精神的価値		
	5/24(日)	15-3	高野山大学	学長	松長 有慶		曼荼羅のシンボリズム		
			上智大学	教授	垣花 秀武		巨大科学と倫理/原子力問題に触れて		
	5/30(土)	15-5	東京大学	教授	村上 陽一郎		何故、科学は宗教から自立したか		
			東京大学	教授	清水 博		生命と情報		
1988年(S63) 第16回									
『仏教とキリスト教の対話／ 智慧と慈悲の現代的意義』 上智大学75周年記念行事 国際シンポジウム	7/28(木)	16-1	上智大学	名誉教授	ハインリッヒ・デュモリン		仏教とキリスト教における智慧と慈悲/きのう、今日		
			京都大学	教授	上田 閑照		西谷哲学と宗教		
	討論	16-2	東京神学大学	名誉教授	北森 嘉蔵		キリスト教と西谷哲学		
			アムハースト大学	教授	ロバート・A.F.トウルマン		【発題】空と十字架/無の哲学と痛みの神学		
	16-3	ボン大学		教授	ハンス・ワルデンフェルズ		智慧論の比較/宗教哲学・神学の観点から		
				教授	坂東 性純		智慧・慈悲の一体性		
	7/29(金)	16-5	ペラデニヤ大学	教授	リリ・デ・シルバ		智慧と慈悲/仏陀とキリストの役割		
			同志社大学	教授	森田 雄三郎		比較の意味/キリスト教と仏教		
	16-7	南山大学		教授	ジェームズ・ハイジック		脱身体化された慈悲の神話		
			16-8	仏教大学	教授	梶山 雄一		空と慈悲	
	7/30(土)	16-9	アムハースト大学	教授	ロバート・A.F.トウルマン		母なる智慧・父なる慈悲/ チベット大乘仏教的象徴の現代へのメッセージ		
			16-10	上智大学	教授	ウィリアム・ジョンストン		無とすべて/十字架のヨハネの神秘的教え	
	16-11	オッティリエン修道院大修道		院長	ノケル・ヴォルフ		弁別力/基本的修道生活の徳		
							社会的政治的行動の均衡のためのガイドライン		
16-12	愛知専門尼僧堂長		-	青山 俊董		真理は一つ			
		7/31(日)	16-13	フィリピン大司教	-	フリオ・X.ラバイアン		幻想を超えて/十字架のヨハネにおける智慧と慈悲	
16-14	クメール・ブッティスト・リサーチ・センター		所長	モニチェンダ・ヘンク		カンボジア難民と共に/仏教の智慧と慈悲			
		討論	上智大学	教授	門脇 佳吉		将来への展望		
		上智大学	助教授	ルベン・L.F.アビト		【発題】シンポジウムを振り返って			
		ボン大学	教授	ハンス・ワルデンフェルズ					
1989年(H1) 第17回									
『身体性と宗教』	5/27(土)	17-1	上智大学	教授	門脇 佳吉		ユダヤ・キリスト教神秘体験と性/愛の二形態(修道者と夫婦)		
			東洋大学	教授	金岡 秀友		日本真言における密と性		
	5/28(日)	17-3	桜美林大学	教授	湯浅 泰雄		修行における心と身体		
			都立大学	教授	加藤 信朗		ギリシア哲学と身体/哲学と宗教の臨界面		
	6/3(土)	7/17(日)	東大寺教学部	部長	森本 公誠		「東大寺修二会」(ビデオ上映)		
			17-5	宮城学院女子大学	教授	山形 孝夫		東大寺修二会(お水取り)の行法	
	6/4(日)	17-7	新体道創始者	-	青木 宏之		禁欲のコスモロジー/砂漠の修道院のフィールドノートから		
			17-8	上智大学	教授	門脇 佳吉		からだは拓く新しい地平	
	17-9	作家		-	加賀 乙彦		からだで聖書を読む		
			6/11(日)	17-10	「一竹・辻が花」創作者	-	久保田 一竹		聖書の世界を訪れて
	17-11	観世流シテ方		-	梅若 猶彦		いまに生きる/「辻が花」と人との出会い		
実演			観世流シテ方	-	梅若 猶彦		能の稽古と身体性		
			-	梅若 猶彦		能の型からキリスト教的表現へ			
1990年(H2) 第18回									
『息・気・霊と宗教体験』	6/24(日)	18-1	作家	-	加賀 乙彦		「憑きもの」について		
			上智大学神学部	講師	雨宮 慧		預言者の召命と霊の力		
	6/30(土)	18-3	瑞巖寺僧堂師家	-	平野 宗浄		禪と気について		
			18-4	白百合女子大学	教授	佐久間 彪		キリスト教における神の霊	
	7/1(日)	18-5	国際日本文化研究センター	教授	山折 哲雄		日本の宗教と息・気・霊		
			18-6	上智大学文学部	教授	門脇 佳吉		気と聖霊/東洋思想とキリスト教の接点	
	7/7(土)	18-7	宗教心理学研究所	所長	本山 博		宗教体験における呼吸・気・霊		
			18-8	合気道会	理事長	植芝 吉祥丸		合気道の身体性と心の在り様	
	18-9	上智大学文学部	教授	門脇 佳吉		【総括】息・気・霊と宗教体験			

**連続講演会  
講演者名&タイトル一覧表**

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
1991年(H3) 第19回									
『臓器移植と宗教』	6/1(土)			19-1	東京大学医学部	教授	多田 富雄	脳の自己と身体の自己／能「無明の井」で考えたこと	
				19-2	作家	-	加賀 乙彦	脳死と臓器移植	
	6/2(日)			19-3	上智大学	教授	アルフォンス・デーケン	臓器移植とキリスト教	
				19-4	ノンフィクション作家	-	中島 みち	見えない死をめぐる	
	6/8(土)			19-5	大正大学	教授	藤井 正雄	臓器移植と仏教	
				19-6	南山大学	助教授	土田 友章	わたしのからだ・わたしのころ・わたしのすくい ／臓器移植をめぐる倫理と信仰	
6/9(日)			19-7	花園神社宮司・医師	-	片山 文彦	臓器移植と神道		
			19-8	上智大学	教授	門脇 佳吉	【総括】人格的交わりとしての臓器移植		
1992年(H4) 第20回									
『現代の危機と宗教者の責任』	6/27(土)			20-1	カトリック司祭	-	薄田 昇	見失われて行く神と人の姿	
				20-2	著述業／日蓮宗僧侶	-	丸山 照雄	現代の危機認識と仏教者の責任 — 日蓮を通して —	
				20-3	イエズス会社会司牧センター	所長	安藤 勇	現代社会の挑戦に応じない宗教界	
	6/28(日)			20-4	作家	-	大江 健三郎	ヒロシマがしるしであり続ける	
				20-5	明治学院大学	教授	武者小路 公秀	文化間紛争としての現代の危機 — 普遍と特殊の媒介者の役割 —	
	7/4(土)			20-6	上智大学	教授	門脇 佳吉	「道の形而上学」の展開 — 大江文学が私に与えた預言的衝撃 —	
				20-7	作家／精神科医	-	なだいなだ	民族主義という宗教	
				20-8	カトリック司祭	-	押田 成人	現代文明という幻想 — 高森草庵からの告発 —	
	7/5(日)			20-9	上智大学社会正義研究所	所長	アンセルモ・マタイス	現代の文明はどこにおもむくか	
				20-10	上智大学	名誉教授	宗像 巖	「水俣」の傷を癒す宗教	
				20-11	共同通信社相談役	-	酒井 新二	日本をめぐる内外の政治危機	
				20-12	上智大学	教授	ペトロ・ネメシェギ	世界の危機とカトリック教会	
1993年(H5) 第21回									
『仏教とキリスト教～対話から創造へ～』 上智大学東洋宗教研究所 創立25周年記念	6/19(土)			21-1	南山大学	教授	J・ヴァン・ブラフト	仏教とキリスト教との橋わたしとしての浄土教	
				21-2	駒沢大学 禅文化研究所	教授 所長	鈴木 格禅	非思量からの出発	
	6/20(日)			21-3	花園大学国際禅学研究所	所長	柳田 聖山	良寛の冬と春 — 草庵独住の宗教	
				21-4	京都大学 上智大学	名誉教授 教授	門脇 佳吉	聖フランシスコの秘められた愛 — 貴女・清貧と聖クララ	
	6/26(土)			21-5	上野学園大学	教授	坂東 性純	親鸞から学ぶことども	
				21-6	上智大学 報恩寺住職	-	井上 英治	アガベ(愛)と慈悲	
	6/27(日)			21-7	花園大学	教授	西村 憲信	私の中のキリスト教	
				21-8	カトリック修道司祭	-	押田 成人	私にとっての自然	
1994年(H6) 第22回									
『気・聖霊と癒し』	6/25(土)			22-1	明治学院大学 明治学院大学キリスト教研究所	教授 所長	加山 久夫	聖書の聖霊 — 人を生かす神のいき —	
				22-2	元京都大学／元東京大学	教授	福永 光司	タオイズムの「いのち」の哲学 — 宇宙・混沌・一気・生命・調和	
	6/26(日)			22-3	上智大学	教授	大島 晃	気思想史とその研究	
				22-4	上智大学	教授	門脇 佳吉	気・禅機・聖霊の私の体験	
	7/2(土)			22-5	上智大学 コメント	教授	山中 祥男	-	コメンテーター
				22-6	東京大学	教授	島蘭 進	宗教と心理療法の間	
	7/3(日)			22-7	宮城学院女子大学	教授	山形 孝夫	聖書における癒し	
				22-8	東京電機大学	教授	町 好雄	気と癒し— 気功の科学的計測	
			22-8	宗教法人十字式健康普及会	会長	安久津 政人	技(わざ)で証明する聖霊整体術		

**連続講演会  
講演者名&タイトル一覧表**

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
1996年(H8) 第23回									
『文学と宗教』	1/13(土)	23-1	作家	-	大庭 みな子		文学と人生		
			作家	-	木崎 さと子		読むことと書くこと		
	1/14(日)	23-3	立教大学	教授	横山 紘一		「深い河」読後感 — 唯識的観点から —		
			上智大学	教授	高柳 俊一		「深い河」 — 転生と同伴者 —		
	1/20(土)	23-4	上智大学	教授	磯見 辰典		-		コメンテーター
			上智大学	教授	門脇 佳吉		大江文学の源泉としての宗教体験		
			国際日本文化研究センター	所長	河合 隼雄		大江健三郎「燃えあがる緑の木」を読んで		
	23-7	作家	-	加賀 乙彦		大江文学と宗教			
1997年(H9) 第24回									
『宗教における新しい智と信』	1/11(土)	24-1	上智大学	教授	高柳 俊一		キリスト教的知の体系における知恵と黙示		
			上野学園大学	教授	坂東 性純		“信心の智慧”について		
	1/12(日)	24-3	上智大学	教授	松岡 洸司		キリシタンにおける智と信		
			上智大学	教授	大島 晃		儒教における智と信		
	24-5	24-6	国際基督教大学	教授	村上 陽一郎		西欧思想史における智と信の一側面		
			東京大学/中国社会科学院文献情報センター	名誉教授	鎌田 茂雄		— 科学的観点から — 東アジア仏教よりみた智と信		
1998年(H10) 第25回									
『宗教のこれからの課題・役割 — 日本近代化と21世紀への 展望の中で』	1/17(土)	25-1	上智大学	教授	クラウド・リーゼンフーバー		21世紀に向かう宗教の課題		
			上智大学	教授	大島 晃		明治以降の儒教 — 井上哲次郎の立場		
			上智大学	教授	宗 正孝		国学と近代化 — 本居宣長をめぐって		
	1/18(日)	25-4	東京工業大学大学院	助教授	上田 紀行		現代社会の癒しと宗教の未来		
			上智大学	教授	高柳 俊一		近代とキリスト教 — 一体性と相克		
1998年(H10) 第26回									
『諸宗教の霊性と現代意識』	6/13(土)	26-1	花園神社宮司	-	片山 文彦		今、なぜ神道か		
			東京女子医科大学/國學院大學	講師					
	6/14(日)	26-2	上智大学	教授	高柳 俊一		キリスト教と現代の霊性		
			26-3	東京大学	教授	島 蘭 進		新新宗教と現代	
26-4	京都大学人文科学研究所	名誉所員	福永 光司		バイブルとタオイズム — トルストイの「老子」研究と「要約福音書」を具体例として —				
1999年(H11) 第27回									
『諸宗教と生命、地球の未来 における人間社会』	6/12(土)	27-1	上智大学	教授	青木 清		人類の生存と環境保全		
			上智大学生命科学研究所	所長					
	6/13(日)	27-2	國學院大學	教授	三橋 健		神々の寄さしし生命 — 神道の伝統的生命観		
			上智大学	教授	高柳 俊一		創造の思想とエコロジー — 創世記第1章~第2章を読みなおす —		
27-4	国際基督教大学	教授	葛西 寛		創造的共生の文明・社会と祈り				
2000年(H12) 第28回									
『宗教と自然環境』	6/10(土)	28-1	上智大学	教授	岡村 堯		宗教、自然環境および法 — 三つのかわり合い —		
			上智大学地球環境研究所	所長					
			上智大学	教授	青木 清		人類と生物の未来		
	6/11(日)	28-3	立正大学	教授	三友 量順		佛教と環境(利他を思念す)		
			上智大学	教授	高柳 俊一		自然環境と現代キリスト教思想		
			上智大学	教授	金井 寛		工学と社会問題 — 医用生体工学を例として		
28-6	東京大学	教授	島 蘭 進		アニミズムとエコロジー				

## 連続講演会 講演者名&タイトル一覧表

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考		
2001年(H13) 第29回											
『宗教におけるひじり・聖者・聖人』	6/10(土)		29-1	立正大学	教授	三友 量順	「シャーンティ・デーヴァ」さとりへの実践と「イタ好オネ・クリスティ」				
					教授	私市 正年	イスラムの聖者と聖者信仰				
					教授	高柳 俊一	「黄金伝説」の聖人たち				
					6/11(日)	29-4	曹洞宗総合研究センター	所長	奈良 康明	宗教者としての釈尊ブツダ	
								前学長	久山 宗彦	イスラム・シーア派のイマーム神智論とキリスト教	
					29-5	星美短期大学	助教	竹田 文彦	聖性へのあこがれ —「アントニオスの生涯」(De Vita Antonii)における聖		
29-6	英知大学										
2002年(H14) 第30回											
『聖俗の空間とコスモロジー —聖なる場(聖地・聖場と巡礼)』	6/29(土)		30-1	ノートルダム清心女子大学	教授	朝倉 文市	荒野と修道生活・巡礼				
				30-2	國學院大學	教授	宮元 啓一	「聖者」M.カーンティエーが目指したもの			
				30-3	高野山大学	教授	藤田 光寛	山岳寺院と心のコスモロジー			
	6/30(日)	30-4	上智大学	名誉教授	高柳 俊一	楽園思想と聖地エルサレム					
				教授	真野 俊和	巡礼:旅の中の宗教					
30-5	筑波大学										
2003年(H15) 第31回											
『宗教における心と体』	6/21(土)		31-1	上智大学	名誉教授	高柳 俊一	キリスト教における心と体				
				31-2	桜美林大学	名誉教授	湯浅 泰雄	宗教倫理学における心と身体			
				31-3	花園神社宮司	—	片山 文彦	神道における心と体			
	6/22(日)	31-4	上智大学	教授	大島 晃	「心は身の主宰」について — 中国思想における心と身					
				31-5	東京大学	教授	末木 文美士	仏教における心と身体			
				31-6	東京大学	教授	島蘭 進	生命主義のなかの心とからだ — 近代日本宗教の救済観			
2004年(H16) 第32回 『キリスト教と諸宗教の聖典と日常生活』											
『キリスト教と諸宗教の聖典と日常生活』	6/26(土)		32-1	上智大学	名誉教授	高柳 俊一	キリスト教の聖典と日常生活				
				32-2	上智大学	助教	芳賀 学	現代新宗教における聖典と日常生活			
				32-3	立正大学	教授	三友 量順	仏教の聖典と日常生活 — 「法華経」誦の信仰を中心にして			
	6/27(日)	32-4	南山大学	所長	西脇 純	キリスト教の聖典と日常生活					
				32-5	武蔵野大学	教授	山崎 龍明	真宗の中心思想と日常生活 — 親鸞と蓮如と門徒の生活			
				32-6	武蔵野大学仏教文化研究所	所長	大島 晃	儒教の聖典と日常生活			
2005年(H17) 第33回											
『宗教における癒しと救済 —現代世界と苦悩を共にする宗教』	6/25(土)		33-1	上智大学	教授	小林 稔	イエスの治癒物語伝承				
				33-2	上智大学	教授	大島 晃	天地・我・同胞 — 儒者の人道主義の可能性			
				33-3	上智大学	助教	芳賀 学	現代新宗教における癒しと救済			
	6/26(日)	33-4	上智大学	名誉教授	高柳 俊一	世界の癒しと救い — 宗教か非宗教か					
				33-5	同志社大学	教授	森 孝一	アメリカ・キリスト教における癒し救済			
				33-6	一神教学際研究センター	センター長	末木 文美士	— 世界の苦悩を共にできているか 仏教における<救済>			
2006年(H18) 第34回											
『世界のいやしと平和 —宗教はどうあるべきか』	6/17(土)		34-1	上智大学	教授	シリル・ヴェリアト	イエズスを体験したヒンドウ教徒: ラマクリシュナ・ハラハムサスワァーミ・ウイウエーカーナンダ				
				34-2	上智大学	教授	大島 晃	仁と和 — 儒家における共生の思想			
				34-3	上智大学	教授	松岡 洸司	キリシタン時代の無事・平安 — 殉教への道			
	6/18(日)	34-4	上智大学	所長	芳賀 学	現代新宗教における癒しと平和					
				34-5	上智大学	教授	山内 弘一	18世紀 朝鮮王朝への天主教(カトリック)伝来について — 共生から弾圧へ			
				34-6	上智大学	名誉教授	高柳 俊一	世界のいやしと平和 — 宗教はどうあるべきか			

**連続講演会  
講演者名&タイトル一覧表**

注: ●小テーマは第13、14回のみ。

※所属は当時のもの

更新日: 2014.10

開催年	回	総合テーマ	日付	No.	所属1	所属2	講演者名(敬称略)	タイトル	備考
2007年(H19) 第35回									
『宗教における本質と信仰』	6/16(土)			35-1	立正大学	教授	三友 量順	日蓮宗の宗義と信仰	
				35-2	上智大学	准教授	竹内 修一	いのちのことが実るときー倫理と霊性の邂逅ー	
	6/17(日)			35-3	花園神社宮司	—	片山 文彦	神道における信仰	
				35-4	北海道大学	名誉教授	松川 健二	日本陽明学における生死観	
				35-5	南山大学	教授	渡辺 学	現代社会における宗教の本質と信仰 ー世俗化と宗教回帰現象のはざまー	
				35-6	上智大学	教授	佐久間 勤	バビロン捕囚の中の希望 ーユダヤ教・キリスト教共通の原体験としてー	
2008年(H20) 第36回									
『キリスト教と日本宗教』	6/7(土)			36-1	上智大学	教授	宮本 久雄	宮沢賢治文学と「法華経」	
				36-2	東京大学	教授	丘山 新	中国における仏典の翻訳と受容	
	6/8(日)			36-3	上智大学	名誉教授	門脇 佳吉	道元と聖イグナチオの霊的眼ー正法眼と靈動辨別ー	
				36-4	上智大学	准教授	高山 貞美	イエスの教えと歎異抄	
				36-5	上智大学	教授	渡辺 清	明治期における哲学と宗教の関係について ー「日本主義哲学」の成立史としてー	
2009年(H21) 第37回									
『東アジアのキリスト教』	6/6(土)			37-1	国立公文書館アジア歴史資料センター	調査員	牧野 元紀	ベトナム前近代史のなかのカトリック	
				37-2	東京大学	名誉教授	岡本 さえ	中国人はイエズス会をどうみたか	
	6/7(日)			37-3	上智大学	教授	片山 はるひ	遠藤周作の文学におけるキリスト教の「東と西」	
				37-4	上智大学	准教授	高山 貞美	日本人の霊性とキリスト教	
				37-5	上智大学	教授	田中 裕	復生の文学ー詩人 東條耿ー とキリスト教	
2010年(H22) 第38回									
『平和に貢献する宗教』	6/12(土)			38-1	上智大学	教授	宮本 久雄	東学の神秘体験と平和	
				38-2	上智大学	教授	小山 英之	北アイルランド紛争と宗教	
	6/13(日)			38-3	上智大学	准教授	アガスティン・サリ	アイデンティティにおける多様性と 宗教が原因とされる紛争:インド国内紛争を事例に	
				38-4	上智大学	教授	芳賀 学	現代新宗教と精神文化における平和と癒し	
				38-5	真宗大谷派報恩寺	住職	石川 勇吉	平和をめざす宗教者の共同 その理念と課題について	